

1 雑誌・報告書等（公害研究所関係：昭和62年度）

（大気研究担当）

川崎市における放射能調査報告書（No.26）：川崎市，昭和62年12月

佐藤静雄，永野 敏，鈴木 茂，高橋 篤，平山南見子

大気中化学物質分析法の検討（昭和62年度環境庁委託業務結果報告書）：川崎市，

昭和63年3月

佐藤静雄，永野 敏，鈴木 茂

エアロゾル中の炭素成分等の分析に関する調査（昭和62年度環境庁委託業務結果報告書）：川崎市，

昭和63年3月

小池順一，井上康明

浮遊粒子状物質に係わる新測定法結果報告書（昭和62年度環境庁委託業務結果報告書）：川崎市，

昭和63年3月

井上康明（環境庁検討会 委員参画）

大気中化学物質検討調査：日本環境衛生センター，昭和63年3月

佐藤静雄（環境庁検討会 委員参画）

健康影響についての過去の大気汚染データの整理に関する調査報告：大気汚染研究協会，

昭和63年3月

佐藤静雄 他

ばい煙簡易測定法指針：環境庁大気保全局大気規制課，昭和62年3月

黒沢芳則（環境庁検討会 委員参画）

ユーロピウムを用いた沿道拡散実験：公害，昭和62年5月

井上康明，林 久緒 他

昭和61年度南関東浮遊粒子状物質合同調査結果報告書：一都三県公害防止協議会，

昭和63年3月

黒沢芳則，井上康明，早坂孝夫，小池順一

昭和61年度神奈川県臨海地区大気汚染調査報告書：昭和63年3月

川崎市環境保全局公害部，公害研究所，公害監視センター， 他機関

ガス状ヒ素測定法に関する研究（1）—ガス吸収瓶からのヒ素の溶出—：川崎市公害研究所年報，

第14号，p7～9（1987）

柴田幸雄，高橋篤

ガス状ヒ素測定法に関する研究（2）—水素化ヒ素（アルシン）の吸収液の検討—：川崎市公害

研究所年報，第14号，p10～15（1987）

高橋篤，柴田幸雄

川崎市における環境大気中のアスベスト濃度について：川崎市公害研究所年報，第14号，

p16～24（1987）

松尾清孝，柴田幸雄，井上俊明，黒沢芳則，佐藤静雄，田辺秀敏*

（*川崎市環境保全局公害部大気課）

ディーゼル車から排出される粒子状物質の成分組成 (1) —シャシダイナモメータによるディーゼル排ガスからの粒子状物質の成分組成の測定— : 川崎市公害研究所年報, 第14号 p 25~35
ディーゼル車から排出される粒子状物質の成分組成 (2) —ディーゼル自動車のテールパイプ付着物質の成分組成について— : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p 36~44 (1987)
小池順一, 早坂孝夫, 井上康明, 黒沢芳則, 佐藤静雄

(水質研究担当)

川崎市における事業場排水中の陰イオン界面活性剤の調査結果: 水質汚濁研究, VOL.11, No.3 (1988)
吉川サナエ

化学物質環境調査 (昭和62年度環境庁委託業務結果報告書) : 川崎市, 昭和63年3月
林 久緒, 吉川サナエ, 山田健二郎, 鈴木 勲

底質環境調査「T B T O. 造船所周辺水域」 (昭和62年度環境庁委託業務結果報告書) : 川崎市, 昭和63年2月
鈴木 勲, 吉川サナエ, 林 久緒, 山田健二郎

川崎市内河川の底質汚染実態調査 (第2報) —鶴見川水系— : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p 46~50 (1987)
広瀬健二, 吉田謙一, 岩瀬義男,

川崎港における有害化学物質の汚染実態調査 (2) —運河内におけるアセナフテン, アセナフチレン, フルオレン, ジベンゾフランの調査— : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p51~56(1987)
広瀬健二, 古塩英世

川崎港における有害化学物質の汚染実態調査 (3) —底質中のジメチルナフタレン類及び2-イソプロピルナフタレンについて— : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p57~66 (1987)
古塩英世, 林久緒, 松本文秀*, 山田茂**
(*川崎市衛生局衛生研究所, **川崎市環境保全局公害部騒音振動第2課)

川崎港における有害化学物質の汚染実態調査 (4) —魚類中のT B T Oについて— : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p 67~71 (1987)
林久緒, 古塩英世, 松本文秀*, 山田茂**
(*川崎市衛生局衛生研究所, **川崎市環境保全局公害部騒音振動第2課)

検知管による工場排水中のトリクロロエチレン, テトラクロロエチレン及び1,1,1-トリクロロエタンの簡易試験法についての検討 : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p 72~85 (1987)
山田健二郎, 吉川サナエ, 鈴木勲, 山田茂*, 永田正信**
(*川崎市環境保全局公害部騒音振動第2課, **川崎市環境保全局公害部)

紫外線吸光光度法による全窒素分析法の検討 : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p86~91 (1987)
吉川サナエ, 山田健二郎, 林久緒, 鈴木勲, 山田茂*
(*川崎市環境保全局公害部騒音振動第2課)

(騒音振動研究担当)

川崎市における住環境騒音 (第2報) : 川崎市公害研究所年報, 第14号, p92~102 (1987)

2 学会発表・講演等（公害研究所関係：昭和62年度）

（大気研究担当）

臨海工業地帯における大気中炭化水素濃度の連続測定調査： 第28回大気汚染学会，昭和62年11月，東京都

高橋 篤，永野 敏，佐藤静雄

環境大気中におけるアスベスト濃度について： 第28回大気汚染学会

松尾清孝，柴田幸雄，井上俊明，黒沢芳則，佐藤静雄

クロルテン類による室内空気汚染調査： 第28回大気汚染学会

鈴木 茂，永野 敏，佐藤静雄

ディーゼル自動車のテールパイプ付着物の成分組成について： 第28回大気汚染学会

小池順一，早坂孝夫，黒沢芳則，佐藤静雄

道路沿道周辺における浮遊粒子状物質について： 第28回大気汚染学会

井上康明，小池順一，早坂孝夫，黒沢芳則，佐藤静雄

身の周りで使われている有害な物質—防虫剤と白蟻駆除剤—： 神奈川県・市公害研究機関協議会，第11回公害研究合同発表会，昭和62年6月，横浜市教育文化センター

鈴木 茂，永野 敏，佐藤静雄

ヨーロッパ訪問リポート「セベソのダイオキシン事故」のその後及び植物による大気汚染： 神奈川県・市公害研究機関協議会，第11回公害研究合同発表会

平山南見子

川崎市における半導体関連工場の実態調査について： 全国公害研協議会関東甲信静支部大気専門部会，昭和62年6月，川崎市

柴田幸雄，高橋 篤 他

（水質研究担当）

川崎港における有害化学物質の汚染実態調査—底質中のアセナフテン，アセナフチレン，フルオレン，ジベンゾフランについて—： 神奈川県・市公害研究機関協議会，第11回公害研究合同発表会，昭和62年6月，横浜市教育文化センター

吉塩英世，林 久緒，松本文秀，山田 茂

川崎港内運河の底質におけるベンゾ（a）ピレンとベンゾ（g，h，i）ペリレンの濃度分布： 全国公害研協議会関東甲信静支部水質専門部会，昭和62年10月，諏訪市

広瀬健二

（騒音振動研究担当）

川崎市の環境騒音（Ⅱ）： 神奈川県・市公害研究機関協議会，第11回公害研究合同発表会，昭和62年6月，横浜市教育文化センター

青木和昭，大嶋道孝，飛田吉生

川崎市の環境騒音： 全国公害研協議会関東甲信静支部騒音振動専門部会，昭和62年7月，茨城県つ

くほ

青木和昭，大嶋道孝，飛田吉生